子どもたち 異様に「素直

にな

₩

build strong kids, strong families, strong communities.

られない絶望感をもって たちは本当の自分を生き

つか自分で作ってしまっ

が蔓延している。

私には

ふっと消えるほどに軽

命の重さが感じられず、

の中のビー玉のよう。

「今の私は、ラムネ瓶

個を圧殺し、人間性を圧 殺する。滅私奉公の土壌

レベルから教えている。 の倫理として、幼児教育 今、この国の子どもた

心の闇

この時代をこれから生

総主事カフェ

総主事・菅谷 東京YMCA

淳

春の「YMCAって何?」

開拓者」第2号1985年

135-0016

感じています。校長をし ちは異様に素直だと私は

### 東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって 示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少 年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、 地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつく るための運動を展開する。

URL http://tokyo.ymca.or.jp

# 氏が4月20日、 " 安積力也氏墨層教独立学 私、を表出できない子どもたち

講演

どもたち一今、大人に問われていること」と題して講演。多くの貴重な 問題提起をされました。ご紹介します。 日本聾話学校や恵泉女学園などで永く教育に携わってきた安積力也 「東京YMCA午餐会」で「『私』を表出できない子

電話 03-3615-5562

# ぁゔみ **安積** 力也 氏

敬和学園高校で教師を務めた後、日本聾話学校、恵泉 女学園中高、基督教独立学 園高校の校長となる。2015 年3月退職。著書に『教育の カー教育基本法改定下でな おも貫きっる745 ブックレット715)他。

たこの分厚いガラス瓶を った生徒がいました。私 破って外に出たい」と言 そう思われます。 「よい子」 の

公益財団法人東京YMCA 発行人 菅谷 淳 16 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5

作った牢獄に本当の自分 的な管理教育の成果と見 応を返してくる。自分で 感が広がっています。 いを着て格好つけながら を閉じ込め、分厚いよろ しか生きていけない絶望 私はこれを、国家主義 たちは希望なんか持って ました。「この国の大人 室に飛び込んできて、 の?」と聞いた生徒がい 闇を抱えています。校長 面はいい子でも心の奥に いない。仮面かぶってし 「先生、なんで生きてる

たい感情にかられるはず

りかかる。何でも否定し

る。

課題を出せばすぐ取

かに」と言えば静かにな

ていたときも、一言「静

とのようだ」といった反

8割の生徒が「自分のこ 校で話しましたが、 はこの話をいろいろな学

に都合よく言うことを聞 が、ある意味で教師や親 の思春期の子どもたち

いてくれることに驚きま

した。でも個々に向き合

って話を聴くと、その子

うな「私のない従順さ」 ています。ロボットのよ

を、

誰もが守るべき一つ

ゃん」。3・11後は「死い。生きてる意味ないじ 多くなりました。自分の か友だちとも付き合えな たい」と言う生徒たちが にたい」ではなく「消え 心の闇

す。順風満帆のエリート のように私は感じていま い。そんな気持ちの表れ いました。一見明るく楽 る」と、何をするのも 生も「とりあえず生きて ちの心の闇です。 しそうに見える子どもた 「とりあえず」と語って

ことです。 えられずにいます。 意味と勇気を誰からも教 っている。闇を直視する る術だけを必死で学びと まかし、見ないようにす 大人を見て、心の闇をご の悲劇は、自分にしっか りと向き合ってくれる大 人になかなか出会えない さらにこの子どもたち むしろ身近な

の国の子どもたちは、外 一言でいうならば今こ の、避けられない問いに 示できるのか。これが私 のか。どういう希望を提 き方が可能だということ 生きていく。そういう生 て言わずに本気で自分を なっています をどうやって提示できる い」「とりあえず」なん きていく世代が「消えた

> 事・菅谷が思ったこと、嬉し かったこと、悲しかったこと

ら、当時古賀さんからもらっ

古い手紙を整理していた

句を決めて、

かを述べられるように」

「他に困ったことがあったら

た1通の手紙が出てきま.

た。 消印は1985年9月9

日。私のYMCA受験のため

このコーナーはわたくし総主

ことでしょう。

全く別の道を辿っていた

総主事カフェにようこそ。

# 「よい母 の

就職した会社に失望し途方に私は今から31年前、新卒で

スが書かれています。

 $\overline{\overline{Y}}$ 

YMCAは地域や社会、

世

にといろいろ調べ、アドバイ

とも24歳の時です。 手紙は終わっています。 何でも相談してくれ」とあり

2 人

CAの試験は面接重視」「バ

暮れていた時、大学の同級生 だった古賀博さん(現在日本

ことが大切」。そして「『な

イタリティーがあって明るい

若者が始めた団体です。さま 界を良くしたいという20代の

健全育成に寄与してきました ざまな活動を通じて青少年の

それは具体的には、悩み

がら気軽にお読みください。 す。コーヒーや紅茶を飲みな などを自由に綴るコラム枠で

紙をご紹介します。立派 くださった、大変長い手 そこには「娘がまだ赤ん なご家庭の方でしたが、 ある高校生の保護者が

> 時の出会いが無かったら私は することができました。 あの 帥)を訪ね、YMCAへ転職 キリスト教団早稲田教会牧

とあります。

資料として季刊

添って地道に続けた日々の奉 苦しんでいる一人一人に寄り

と思っています。

Aについて勉強するように 語れるように、今からYMC ゼYMCAに入りたいか』を

娘を受容できているので 在していた」と書かれて い娘の口をふさぎかねな 坊だった頃、泣き止まな どもこの手紙の後、その 残っています」と。けれ い残虐な心が私の中に存 しょうか。苦しい思いが いました。「私は心から

思えて仕方ありません。 た。まるで別人のように ことと深い関係があると をここまで見つめ抜いた 私には、母親が自らの闇 高校生の娘に変化が表れ 表情が和らいだのです。 はまず、 れるのを断ち切るために け継がれていくことをい 私は考えています。それ き合うことが必要だと、 見つめ、問題に素直に向 っていくといった「負の れた子が虐待する親にな 子に文化や生活などが受 ように、辛い自分の闇を が子に伝達され繰り返さ ・封印していた経験がわ **伝達」もあります。抑圧** いますが、中には虐待さ 先ほどの母親の

言葉があります。親から

今、大人に問われていること

すから、 あるいは逃げる。ごまか って自分を脅かすように れを忘れようとします。 こと」は、不快なことで 無意識の中に抑圧され、 す。けれどもそれでは問 まにはなりませんね。 得体のしれない不安とな 題は解決せず、かえって 「意のままにならない 私たちの心はこ す。

き方で、満足して死 死に向かって「こん 春期の子どもの親世 人差がありますが、 か」と問う時期です。 たい30~50代くらい

れないあの人。たとえば なければ」と思う変えら わが子。子どもは意のま れない過去。変わってく 「あの出来事さえ

正体を人生の総決算 てきた闇を見つめ、 は自分が心の内に封印し されるこの時期に、 自分の生き方が問 とし まず

**縛から解放され、落ち着** いていくと思うのです。 によって子どももまた呪 YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を禁きます。

なります。不安とは

人がいれば伝えること。

時、友達に誘

小学4年生の

との出会いは

私と YM CA

# ていること 大人に問

ならないもの」がありま **全には「意のままに** 

べき じています。

自身の人生が大きく変え

られていったことを実感

しています▼現在、日本

がりが広がっていき、私

があります。簡単に言え ば、「思春期」がこれ 象のない恐れです。 かと問う時期なのに対 ら自分はどう生きて、 になります。 し、心を閉じていくよう して対象を見ないように ちは恐れから逃げようと 「思秋期」という時期 「思秋期」は自 ねる 分の くく その | こにこそ希望があると信 れか でで 生生 思 個 | ら教えられてきたし、こ このことが、負の世代間 からこそ、私の人生は深 くつもの学校の保護者か 本聾話学校をはじめ、い かもアコヤ貝が、自分の ならないもの」を見つめ めに必要だと私には思え 代に悪循環を与えないた る。私はこのことを、日 うな輝きを持つものにな 闘する中で真珠を生み出 中に入ってきた異物と格 て苦闘することは、あた 伝達を断ち切り、次の世 った」と言えるようにな して「あの辛さがあった していくように、結果と てなりません。 い意味をもち、真珠のよ またその「意のままに ました。YMCAとの関 となり、職員へと導かれ カー、グループ活動、キ 覚えています▼その後月 キャンプから多くのつな わりは早31年目。一つの ャンプ等に携わった後、 り、江東センターでサッ 日が経ってリーダーとな 山手センターの専任講師 けてくれたことを今でも ティアリーダーが勇気づ 初めて親元を離れてめそ めしていた私を、ボラン

まりました。

ャンプから始 Aのスキーキ た埼玉YMC われて参加し

のYMCA観が述べられてお ました。続けて古賀さん自身 り、最後に「自分の好きな聖 記事のコピーが同封してあり なぜそこが好き Ø し、今もそうであると確信し 独な人の友となり、障がいの く、悩む人の悩みを聞き、孤 います。「十把一絡げ」でな仕や努力の集積であったと思 ています。 負う毎日であったと思います 人に寄り添って、共に重荷を ある人の手足となり、貧しい

うに、一人の人間と向き合っ ていくことを約束しました。 MCAの使命を力強く遂行し 様と会衆の見守る中、東京Y われた総主事就退任式で私 てその人の一番辛いところを それは若き日の古賀先生のよ は、古賀牧師の司式により神 緒に担っていくことである 手紙から32年後の3月に行 に、YMCAに来たら仲 る。よくなる。」という 互いに学び合い、認め合 私自身が経験したよう ますが、そこで示された と思います。 場所。そんな、誰もが関 れ、人生が楽しくなる。 に、「みつかる。つなが め、日々力を尽くしたい てYMCAの使命を見つ であり続けるため、改め わりたいと思うYMCA い、心豊かに成長できる 言葉があります▼まさに ディングに取り組んでい 間が増え、喜びが与えら ブランドコンセプトの中

サービス㈱代表取締役社 (賛助会事務局長/YM

# のYMCA全体でブラン

佐藤信也)

S

Ae講師講演

生徒も研究発表

夕

ナ

シ

E ナ

ル ス ク 1

ル

で 「サ

1

工

ス・フ

エ

ア

出る時には、ゾウに踏み

つぶされるくらいの圧力

一 定して調べ、模造紙1枚 学年は自分でテーマを設 由研究を進めました。高

# 東雲コミュニティーセンター

# より地域に根差した活動を



幼児の野外グループ活動「どんぐり」の 子どもたちとボランティアリーダー

児の野外グループ活動

4月16日 (日) には幼

「どんぐり」が初めての

どもたちが江戸川区の大 しい天気の中、13人の子プログラムを実施。春ら

進み、利便性も向上して

まだまだ若い地域でもあ

アミリーセンターは「東 雲コミュニティーセンタ -」と名称を改め、 た。 な一歩を踏み出しまし 運動を展開すべく、新た 地域 に 根ざ した Y M C A このセンターは20

話クラスやモダンバレエ 教室といったカルチャー ていく予定です。 支援プログラムを行なっ プログラムのほか、隣接 外グループ活動とキャン てきましたが、今後は野 プなど、<br />
幅広く<br />
活動をし するYMCAキャナルコ ト保育園と共に子育て 遊びました。 の子どもたちが、大島小 ラブ」もスタート。20名 生の「アドベンチャーク すことができました。

明は臨海地域と呼ばれ、 思いっきり体を動かして いています。街の整備も ンションが次々と建設さ 十年以上にわたり高層マ れ、今なお人口増加が続 松川公園で『ドロけい』 "花いちもんめ" などで 東雲等の働きの中に、 も園、保育園、学童クラ ブ、児童館、グランチャ CAが運営しているこど ターも加わり、今後さら たにコミュニティーセン にYMCA運動を広げ、

私自身

ンター 行っていけるようにと願 て夢を語れる地域作りを を生み出し、希望、そし 人と人とのつながりや絆 (東雲コミュニティ 山梨雄一)

トリツィア一二氏 (理研)



マ氏 (JAXA)





YIS)は4月7日、 ナショナルスクール

東京YMCAインター

を開催。 NASA (アメ

スクール生や保護者も多

興味津々。「飛行士は苦

力の高い洗剤とは」

リ

SAのブラッカビイ先生

子どもたちは

にまとめて展示。

しくないの?」「何分く

総勢200人以

 $\widehat{\mathrm{T}}$ 

リカ航空宇宙局)、JA XA(宇宙航空研究開発

「サイエンス・フェア」

機構)、

理化学研究所

隣のインターナショナル

しました。

上が、科学の魅力を体験

らいかかるの?」次々と

み」などさまざまな発表

ニアモーターカーの仕組

が並びました。中には

手があがりました。

発表を行ないました。近 講演と、生徒たちの研究 (理研)の研究者による

ブラッカビイ氏 (NASA)



→研究紹介の様子。即力作が並んだ。 モをとり熱心な質疑が続いた。 生徒の研究発表会場。



閲覧者もメ 約50の 追及する大切さなど科学 で開催となりました。N の専門家たちは、宇宙ス るもので、当校マネージ ど、最先端の情報を講演 テーションでの生活や、 いたことから、TYIS ド先生がここに関わって ャーのクリス・ホーラン イファイ)」の協力によ る団体「S c i F i (サ もに科学の面白さを伝え ASA、JAXA、 理研

このイベントは、子ど るとテンションが下がる 30分以上ゲームをし続け ことを発見したユニーク どもの心拍数を調査し、 賞しました。 分の作品紹介をする時間 な作品も登場。当日は自 ーマに、ゲームをする子 「ゲームと心拍数」をテ 他の生徒の展示を見

状が贈呈されました。 間とが設定され、メモを とりながらじっくりと鑑 てインタビューをする時 人ひとりに記念の表彰 最後に各講師から生徒

# 熊本通信

1年後の熊本レポート

子育てコラム

視点ではこれからさらに

「つながり」という

ものとなるでしょう。

すでにこの地域でYM

振り返ると… 子ども時代を

返し

ま

に改めてこの本を読み

ができる気がしました。

には

少ないかと思います。私も が子ども時代に何を考えて 過ごすことに忙しく、自分 うちえん』と再会する機会 その一人なのですが、先日 いたかなど振り返ることは 私が子どもの頃お気に入り にった絵本 『ぐるんぱのよ 大人になると今の時間を ちの成長をサポートする日 の子ども時代と、現代の子 々を送っています。

を振り返ることで、その気 どもたちとの違いはもちろ 特有の豊かな言動をより身 んありますが、子どもの頃 受けとめること かり ビにか

して最後にぐるんぱ も自動車工場も、 めさせられてしまいま

なり、くつ屋もピアノ

ビスケット工場もク

ことも考えました。たまに

ているのだろうと…そんな

はこんな時間を持つこと

いかもしれません。

上野

智子

と教えてくれることにホッ ぱ」に自分を重ね、お話の 返す主人公のぞう「ぐるん ができたな…と思い出しま があり、幼少期にこの本を 最後に失敗は無駄ではない 読むと夜ぐっすり眠ること としたのだと思います。 した。きっと、失敗を繰り 私は現在学童クラブの職

員として、多くの子どもた ばは、どの職場でも失敗ば出します。けれどもぐるんい、立派にして社会に送りい、立派にして社会に送り 目がと ジャ るん。 いぐるんぱを気にかけ、 でさみ 大人たちは、ひとりぼっち ングルのぞうの群れの とまりました。まず、 はが出会う大人たちに 気がつかなかった、ぐ しがりやで何もしな 働

りました。 私は今、どんな大人になっ子ども時代を振り返り、 功のもとにしたのでした。 るんぱは成長し、失敗を成 の出会いや関わりの中でぐ 物や経験を活かすことがで 失敗しながらも得てきてた れることで彼は、 に出会うのです。 人の役に立つ喜びを知 自分を必要とする大人 何人もの大人と これまで 必要とさ

2016年4月14日の熊本・大分大地 震から1年が経ちました。 熊本YMCAは地震直後から約半 益城町と御船町の2カ所で避 また阿蘇YMCAに

難所を運営し、 はボランティアセンターを開設して ボランティアを受け入れました。現 在は仮設団地内の「支え合いセンタ を受託運営し、見守り支援活動 などを行っています。

東京YMCAは地震後、主に御船 町スポーツセンターの避難所にスタ ッフを派遣。私自身も地震の5日後 から現地に行き、避難所運営の支援

を行いました。 今年4月15~16日、1年が経った避 難所を見に行きました。益城町総合 体育館はその後の調査で損傷が激し かったことがわかって閉鎖となり、 立ち入りのできない状態でした。御 船町スポーツセンターは体育館以外 は復旧し、プールでは子どもたちの

歓声が上がっていました。 切りに前向きなメッセージを発信し ようと4月15日、『熊本未来笑店 施しました。テーマは「熊本地震か ら一年。進もう前へ。」。「ふっこ う商店街」のコーナーでは、御船町 と益城町の野菜や果物を販売したほ か、ゲームコーナー、展示会、ミニ フリーマーケットなどが並びまし



また「熊本地震で何が求めら これから何をすべきか」につい て、復興祈念パネルディスカッショ ンも開催。さらに、熊本出身の行定 勲監督の映画「うつくしいひと」の 上映など、楽しいイベントが行われ

会場には、益城町総合体育館や御 船町スポーツセンターの避難所で生 活をされていた方も来場され、スタ ッフや共に避難生活をした仲間との 再会を喜ぶ姿も目にすることができ ました。

現地スタッフの話によると、今仮 熊本YMCA自身も被災し、今な 設住宅に入っている方の約半数が公 お復興途上にありますが、1年の区 営住宅への入居待ち、残りの半数が 自宅再建中とのことでした。復興の 道はまだまだ続きます。被災地への 街』を御船町スポーツセンターで実 関心を失うことのないよう、全国Y MCAは支援を続けてまいります。

> \*熊本YMCAの支援活動はこちら ご覧ください。https://www. facebook. com/ymca. kumamoto/

(東京YMCA職員 佐久間眞人)

**小登校経験者が語る** 

"

様

、な生き方と

は

ないかと思われますが、

とても示唆に富んでいる

そこから漏れていくとい

シリーズ

資料室の窓から(98)

『YMCA活性化入門』

てはまらない人たちが、 しまうので、その枠に当

と思いました。

「多様性」を作りだそ

な状況は続いています。

ザルで水を掬うよう

あるーiby参加者の

を作っても、さらにその うとしてさまざまな制度 は克服すべきものではな

目指すけれども、当事者

だ、という枠が作れらて

いと言っていることは、

もが感じていることでは

登校を克服したとは

性」とはこういうものという現象が起きていまという現象が起きていま

才

ブ

ス

ペ

ス

1

i

b

 $\mathbf{y}$ 

講

演

経験者が語る『多様な』

一生を招き、来場者と共に

講演会「『多様』で

立命館大学で近現代史と

ティーセンターで開催。 生き方」を山手コミュニ

考えました。

現代では、

# 感謝報告

## ■高石ともやさんチャリティーコンサート バングラデシュの子どもたちのため 21回目

フォークシンガーとして60年代 から活躍を続ける高石ともやさん が4月15日、日本キリスト教団浅草 教会でチャリティーコンサートを 開催。『私に人生と言えるものが あるなら』『おじぞうさんのう 『死んだ男の残したものは』 『きょうは記念日』など、高石さ



ん独特の「語りうた」に約100名の来場者が聞き入りまし た。心を合わせて一緒に歌うことの楽しさと豊かさが語ら れ、会場が一体となって斉唱する場面もありました。

故江幡玲子先生(思春期問題研究所所長)のプロデュー スにより神田の東京YMCAチャペルでスタートしたこの コンサートは今年で第21回を迎えました。益金は毎年バン グラデシュYMCAの地域奉仕活動のためにご寄付いただ いており、現地の子どもたちの教育や生活の支えとなって 「細くても長く続けることが、一番の励ましだと 信じる」と語る高石さんのあたたかく力強い歌声に、今年 も会場からは自然と涙や笑顔がこぼれました。高石さんの 息の長いご支援と、ご来場くださった皆さまに、心から感 謝します。 (国際協力部 日野枝里子)

## ■チャリティーゴルフに122人

「東京YMCAチャ リティーゴルフ大会」 を4月13日、千葉県成 田市の「レイクウッド 総成カントリークラ ブ」で開催。澄んだ青 空の下で満開の桜を眺 めながら、31グループ 122人がプレーを楽し みました。今年は新規



の参加者も多く、にぎやかな大会となりました。

この大会は、東京YMCAが行う子どもの活動をサポート することを目的に年に1回行われており、今年で27年目となり ました。おかげさまで今回の支援金は504,000円。今年は特に 経済的困難を抱える子どもたちや、障がい児、不登校児の支 援活動のために大切に用いさせていただきます。

また企業や団体、個人から多数の物品を寄贈いただき、表 彰式では、数々の賞品が入賞者に贈られました。

参加くださった皆さま、ご寄付や献品をくださった皆さ ま、また準備にあたった実行委員の方々に心より感謝申し上 げます。 (会員部 小松康広)

### ■高等学院生がランチクルーズ

### 東京ワイズメンズクラブが招待

3月30日、ポカポカの いいお天気の日に、東京 YMCA高等学院の生徒 ・スタッフ計20人が東京 ワイズメンズクラブにご 招待いただき、「東京湾 のヴァンティアンランチ クルーズ」に出かけまし



た。東京ワイズメンズクラブWファンド委員長の長澤山泰さん をはじめ、6名のワイズメンも参加。共に船上の貸切レストラ ンでフルコースをいただきながら、 交流しました。

船が動き出すと、お台場の名前の由来となった砲台の置かれ た台場が見え、レインボーブリッジをくぐると水平線が広がり ました。景色を眺めていると次々とお皿が運ばれ、その度にひ そひそと「ナイフとフォークは外側からでいいんだよね?」な どと確認する生徒の声が聞かれました。料理が運ばれてくると あちこちから、「おおーっ!」「きれい!」という声が上がり ました。食後にはデッキに出て、海の高さから東京湾や羽田に 離着陸するする飛行機を眺め、レインボーブリッジを下から見 上げました。ゆっくりと海を見ながら話をする生徒たちの姿は 満ち足りて見えました。

クルーズが終わった後、生徒たちに感想を聞きましたが、 「またお願いします!」「ナイトクルーズはどうかな?」など と、次々とリクエストを言う時間になってしまいました。それ くらいみんな楽しんで、本当に東京ワイズメンズクラブに感謝 した1日でした。

(高等学院校長 井口 真)



会場では、講師も参加者も向き合い、 真剣な議論が繰り広げられた。

境問題では生物多様性、 企業ではダイバーシティ 本ではいかに真の多様な ごまかされているのでは のに、多様という言葉で えるのかどうか。実際に 様」という表現が目立ち 機会確保法案などと「多 身の不登校歴と絡めなが ないか。林先生は、ご自 苦しい社会に生きている は選択肢を狭められ、息 ますが、本当に多様と言 行政では多様な教育 した。 ために話題を考え、周囲 れたりしないようにする 浮かないように、苛めら

か。そんなお話をされま かかっているのではない 間の時間、余白がなく、 ことを指摘。 への気の遣い方が尋常じまり自分の周囲の人たち 間関係の「親密圏」、つ むしろ息苦しさに拍車が 代の大学生には本当に隙 た。親密な人たちの中で ゃないという言葉でし は、今の子どもたちは人 れているかが見えてきた 特に印象に残ったの ないのだそうです。 夫陽一さん、スタッフの 員で精神保健福祉士の信 には気を配る余裕が全く ぎて、「社会=公共圏」 後半は1iby運営委

to 興味深いことに3人と 恒先生の司会でトークセ 委員で元高校教師の丸山 に別の意図があると感じ ものなのに、ことさらに ッションを行いました。 ネラーと、1iby運営 小倉哲を交えた3人のパ 「多様」と言うのは、裏 人はもともと多様な はじかれていくというこ 制度の枠に入らない子が

居場所もあるし、SST とが、いたちごっこのよ よる相談機関もあるし、 だと感じました。行政に うに繰り返されているの (ソーシャルスキルトレ そのどこにも行きた う。だってルールとかも 井口真)

の言葉が胸に残りま 定義がないからこそ誰も 何もないじゃん」。 るのか?というパネラー のではないでしょうか。 が来られる居場所になる 性」で人の不条理は救え 行政が用意した「多様 何も

場所の最終形態だと思 言葉が紹介されました。 「1ibyはこういう居 

第一部〈語り継ぐYMCA資料室がいた。東京YMCA資料室の一つである。同書のいたのである。同書のひとり坂口順治氏からいたのである。 変わらないYMCAの理念が 社会を変えていく〉 表題に掲げた冊子を著者

けられた明瞭な解釈を示し、 爾後の展開への構えを示唆し ている。 私に送られたこの冊子には 小さな走り書きのメモが添え られていた。「若い人に語り と、それ 人びとと、 た」と。 い」と示されている事柄を、 びとにとって、一番大事なこ 画に参画しているすべての人 しっかりと受けとめることで は、「語り継ぎた YMCA活動の企 YMCAで働く

う。YMCA刊行の本と資料 とを読み合おう。

会員である。その所論は、日に触れて語りつづける大事なして振る舞うべき「かたち」 つづけて CA会員 である。 言してきた事跡の把握に裏付 本YMCAの先達が経験し発 いる数少ないひとり としての所信を語り 本のYMCAが心

言」なのだ。参加するすべて 要なYMCAの「社会的発 活動はすべて、その時代に必 けることなしに、どうして日 々新たに諸活動が企画できる CAの原理と歴史とを学び続 、意識して設けよう。YM)渡すための語り合いの機会 

本会元副総主事 齊藤 實

めるが、ひとりのYMは、東京YMCA名誉

そのものが、「東京YMCA触れる。その体験の積み重ね体験する。YMCAの真髄に 年度事業報告書と会員大会の の使命」達成の現場なのだ。 の人びとは、参加することに CA活性化入門』を読み合お る」決意表明なのだ。『Y 楽しさを繰り返し「体験す 掲げるのは、こうした意図 よって「YMCAの意図」 に「東京YMCAの使命」を プログラム冊子の第一ページ を

# rMcA 活性化入門